

コロナ対策で県に600万円



北川義信氏と北川ヒューテック

北川ヒューテック代表取締役会長の北川義信氏と、同社（金沢市神田1丁目）の北川隆明代表取締役社長は30日、新型コロナウイルス感染症対策に伴う医療従事者支援のため、石川県に対し、それぞれ300万円（総額600万円）を寄附した。寄附受納及び感謝状贈呈式は県庁知事室で開かれ、写真、義信氏、隆明社長が順に谷本正憲知事

に寄附目録を手渡した。谷本知事は両氏に感謝状を贈るとともに、「趣旨に沿うよう有効に活用させていただく」など多額の寄附へのお礼を述べた。懇談のなかで、義信氏は「今冬の道路除雪も万全の体制で臨む」との決意を示した。

なお、今回の寄附は義信氏が20年秋の叙勲で旭日中綬章を受章したことを記念し、会社とともに実施。式後、同氏は「医療従事者と医療現場のために少しでも役立てたいだけ」と語った。